



1010
発行
2020年
6月15日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
清野 聡
編集責任者
教 宣 部

県産別・単組・地区労連の報告

県春闘共闘の第9回幹事会

県春闘共闘・第9回幹事会が6月7日、新潟市福祉会館で開催しました。

9時30分に開会、県内各地の県産別・単組・地区労連など20名が出席しました。

各出席者からの報告

はじめに、出席者から活動報告などがあり、その後、今井事務局長から、20春闘総括と当面の取り組みについて提起されました。



全体の意見

建交労しん肺裁判は和解へ。中越エクスプレス・職場代表者を獲得した。

職場では、超勤について3・6協定で600時間だが600時間ではおさまらない。会社側は超勤を840時間まで増やしたいと話している。

算されていない。業務量が低下し自宅待機になっている職場がある。

中越労連は5月20日、電話相談を実施、不当解雇になったと相談があった。会社側の不当解雇だ。会社で資格取得にかかった費用を返せと言っている。

団交2回で和解へ。退職金50万円、ほか手当1年分支払い。本人は身体が悪く傷病手当の申請中。

「アベノマスク」地本事務所に届く



写真は「アベノマスク」です。全世界に郵送されていますが、まだ届いていないという方も居ると思います。

写真のマスクは、地本事務所に届いたものです。なんで事務所に？と疑問を感じていました。学校にも届いたとか・・・。

新聞でマスクは必要か？とアンケート調査をして結果は「80%以上が必要ない」「いらぬ」と回答しています。

まだ、届いていない方いますか？必要ですか？



私教連、帝京長岡・吉田先生の不当解雇の闘いから組織拡大があった。

公立高教組、学校が再開、教室は6時間、密になっている。厳しい環境だが、久しぶりに授業が再開されたので懐かしさから、あまり危機感が感じられていない。

休校中、アンケート調査をする。集約し県教委へぶつける。

教員免許の更新、10年ごとに更新する。更新は大学で行われるがコロナで中止している。どう機能していくのか。

定期大会は6月27日開催する。

年金者組合、コロナの関係で組合員には手紙で連絡を試みているが難しい。拡大行動の取り組みについて対面してできない。



定期大会は8月1日開催。市町村議会への陳情、内容は医療窓口負担の軽減、補聴器購入の補助など。支部は6月25日に大会を開催し、うたこえ喫茶は7月2日に開催する。

新潟地区労連は6月10日、執行委員会が再開した。連続講座やコロナ問題など議論した。

医療関係、病院がつぶれる。コロナ受入れ病院は外来の受診を抑制している。夏のポリーナスは1・2ヶ月出るのか厳しい。

コロナ指定病院は県内21カ所指定されている。コロナ患者が入院すると医療関係の点数が3倍になる。

病院は1年分の赤字を1ヶ月でつくった。そして、コロナ関係の医療報酬は3ヵ月後だ。

コロナを受け入れない病院が出てくる。8月以降、労働条件が厳しくなる。

裏面につづく

2019年、警察施設で盗聴が大々的に開始

誰にも聞かれないことがある 原沢史郎

盗聴とは、人の対話を本人たちの了解もなく、盗み聞きすることです。誰でも人に聞かれない話をするでしょう。お金のこと、家族のこと、会社のこと、恋愛のことなど。

通信の秘密は、市民のプライバシーを守り、自由な言論、意見交換にとっても不可欠なものです。

電話などが盗聴されていたら誰も慎重になり、自由に話しくなくなります。だからこそ、憲法は21条2項で「検閲は、これをしてはならない。通信の秘密は、これを侵してはならない」と通信の秘密を保障し、同条第1項では集会・結社・言論・出版などの一切の表現を自由に保障するとし、表現の自由と通信の秘密が一体の関係にあることを明らかにしているのです。

知らないうちにみられている・これ一冊でわかる監視社会から記載しました。



上越地区労連、職場づくりの会議は予定通り開催した。講師に立石先生。地域づくり・どう運動を進めていくのか 講演。
メイデー会場では、集会は開催できないので、5月1日は宣伝カーで市内を回った。回ったことが無いところも行った。
コロナ相談、午後から5名程度で県外からもあった。愛知、福井、山梨、石川、地元は無かった。県外はその県の県労連を紹介した。
上越市の会社、4月30日から5月2日まで休日になりたいと言ってきた。

福祉保育券、あしぬま社の夏のボーナス1・1ヶ月を6月19日の団交で求める。老人ホームは入院数が減っている。
5月24日にパソコン利用のオンライン方法で会議を開催した。とても便利だ。
施設では三密を避けるのは難しい。
ユニオン、亜細亜、3回目の団交。抗議はがきは300枚。



農協、三役会議後、13日に執行委員会を開催する。春闘についての討論をしていないが集約する。
コロナ、対面で仕事をするので厳しい状態だ。直売所は自粛中。行事は中止、卒業式や入学式も中止で収入が減っている。
夏場の果物は、業務用も含めて見通しが不透明だ。減少するのではないか。米については、ある程度の量は変わっていない。持続化給付金の申請を考えている。

ベースアップは定昇のみ。具体的な金額は調べる。越後長岡はベースアップ2000円。定期大会は7月18日開催予定。
コープネットG、コロナ関係で業務量が117%の大幅増となっている。物流に60名が面談し10名採用した。派遣会社の仕事が無く採用試験を受けた人もいた。
会員は東京で20%増、20%は20万人で1日に500名の増となる。物流がパンク状態だ。
コロナ予防でドアノブ、テーブル機など消毒している。
大学生協が運営されていない。支援し生協から5名程度採用した。



コープにいがたとコープクルコが合併する。2022年の合併を目指し準備している。
市民生協、2008年名称変更でコープにいがた(新潟市西区) 県民生協、コープクルコ(新潟市西区)

労基署は休業補償ができる説明、会社は認めない。労基署から指導が出る。それから団交へ。宣伝行動を含めて取り組みを進めていく。
編集後記
国鉄新潟・1010号が発行できました。年間30号まであと少しです。記事はなかなか、集まりません。そこをどうしたら良いのか、今回もいろいろ勉強になりました。
特に、コロナで機関会議や集会などが中止になり今回は苦戦しました。1012号を発行して30号になります。



県春闘共闘・取り組み日程

- 6月17日 新潟地区最賃・街宣+対策会議
- 6月19日 新潟地区19行動
- 7月25日 第10回幹事会

